# 取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

# MDX

Honda Integrated Monitor System

*このたびはHonda車をお買い上げいただき、*
*ありがとうございます。*
*この取扱説明書は、**MDX** に装備された*
*Honda Integrated Monitor Systemの*
*取り扱いについてのみ説明してあります。*
*その他の内容については**MDX** 取扱説明書をご覧ください。*

## 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

**⚠危険**
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

**⚠警告**
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

**⚠注意**
指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

## その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

**アドバイス**
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、
異常事態の処置方法を記載しています）

**知 識**
知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

# もくじ

**各部の名称**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

**はじめに**
テレビをご覧になる前に
お読みください・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
テレビの受信について・・・・・・・・・・・・・ 5

**基本操作**
モニターの取り扱いについて・・・・・・ 6
リモコンについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

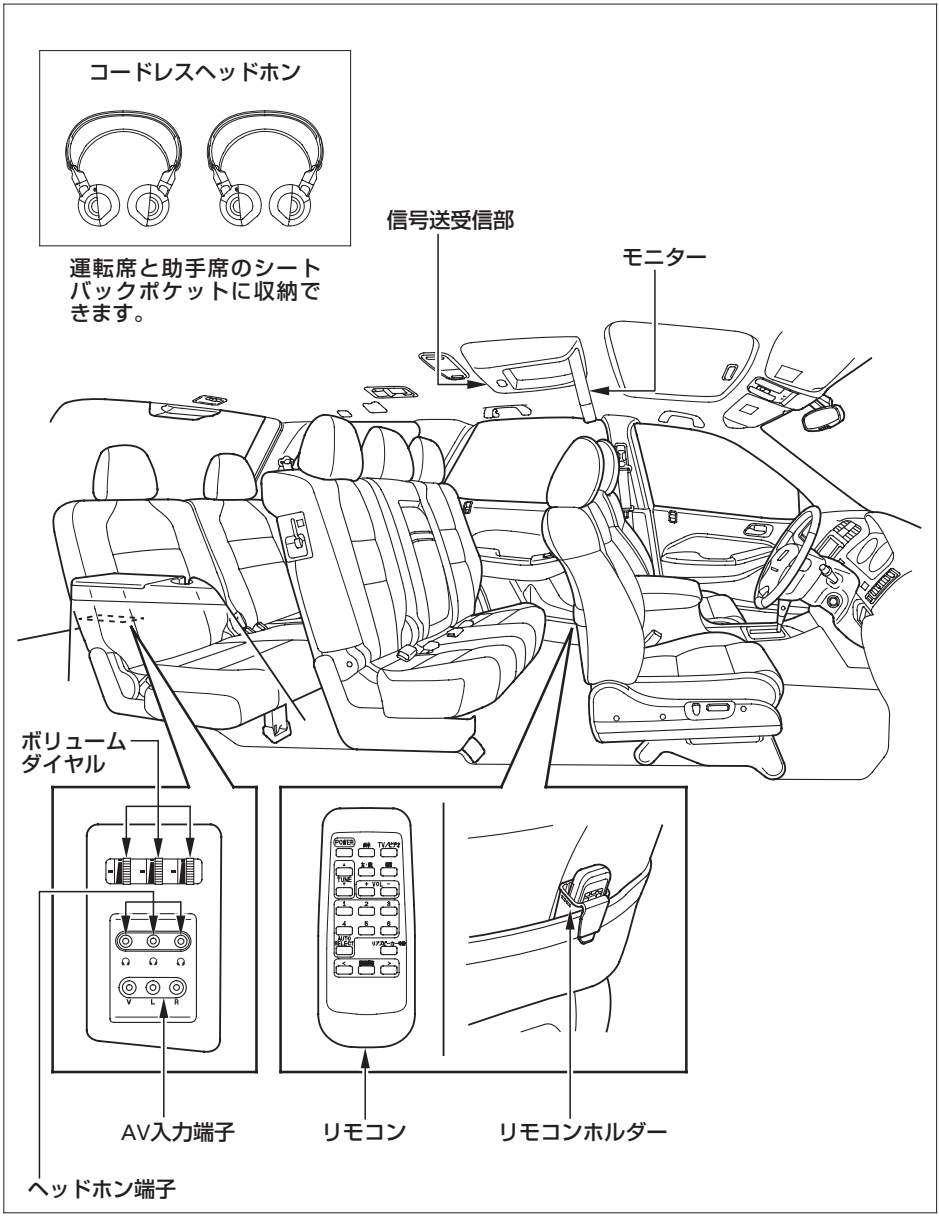
**テレビの操作**
テレビを見る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
音声多重放送の切り換えかた・・・・・・16
チャンネルを表示させるとき・・・・・・16

**ヘッドホンの使いかた**
コードレスヘッドホンについて・・・・18
お手持ちのヘッドホンを
使うとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

**ビデオ機器などの接続**
AV入力端子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

**困ったときの手引き**・・・・・・・・・・・・・・・・23

# 各部の名称


コードレスヘッドホン
運転席と助手席のシートバックポケットに収納できます。
信号送受信部
モニター
ボリュームダイヤル
AV入力端子
リモコン
リモコンホルダー
ヘッドホン端子

# はじめに

## テレビをご覧になる前にお読みください

### ⚠警告

- テレビを見るために、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
  車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

### ⚠注意

- 運転者は、走行中に操作しないでください。
  前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者は、走行中にヘッドホンを使用しないでください。車外の音が聞こえにくくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リモコンとヘッドホンに電池を使用しています。電池の液もれ、破裂、発熱、発火などによるけがや、やけどを避けるため、次のことを必ずお守りください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
  - 指定以外の電池を使わない。
  - 新しい電池と使用した電池、または種類の違う電池を混ぜて使わない。
  - 使い切ったときや、長時間使わないときは電池を取り出す。
  - 乾電池は充電しない。
  - もし、電池の液が漏れたときは、液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

### 知 識

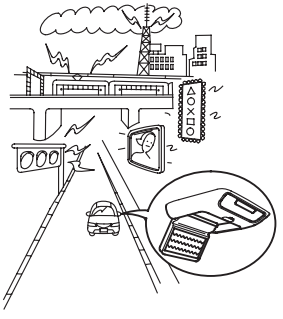
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。また、エンジンが停止している状態で約10分使用していると、画面に「ATTENTION!! LOW BATTERY please START ENGINE」のメッセージが出ますので、この場合、エンジンを始動してからお使いください。エンジンをかけずに続けて使用するとモニター表示は自動で消えます。
- 停車してテレビを見るときは、停車禁止区域外の安全な場所に停車してください。
- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。
  車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。

## テレビの受信について

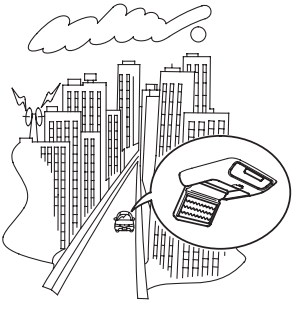
テレビの受信は、車の走行にともない受信状態が変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

**知 識**

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。



- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔の近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると受信状態が悪くなることがあります。



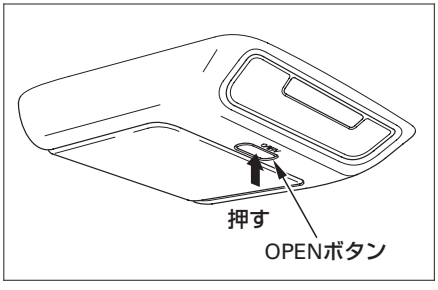
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。

# 基本操作

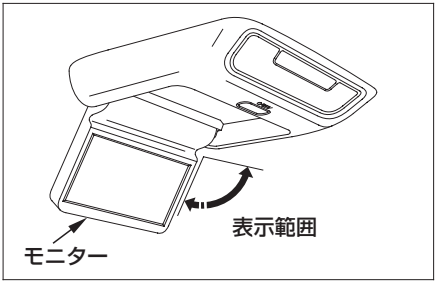
## モニターの取り扱いについて

**●開けかた**

①OPENボタンを押します。
OPENボタンを押すとモニターが開きます。




②モニターを見やすい角度にします。



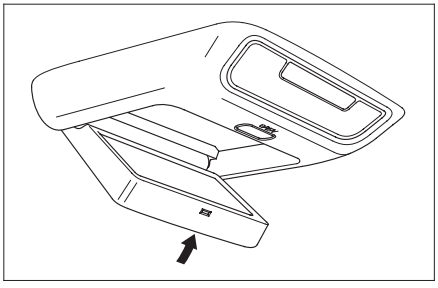

モニターは100°、120°の位置で固定されます。

**知 識**

●運転者の運転の妨げにならないように、モニターを120°以上開くと、電源が切れます。

### ●収納のしかた

モニターをロックするまで押し上げます。使用しないときは、モニターを収納してください。

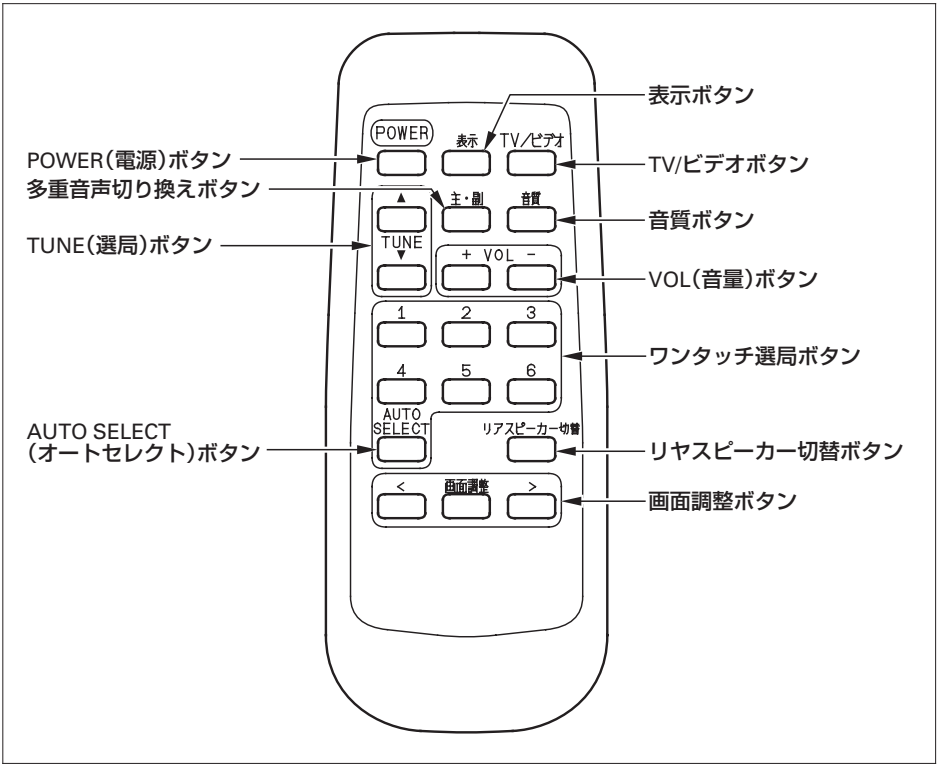


**知 識**

- テレビを見ているときにモニターを収納した場合は、テレビの表示は消え、音声だけが聞こえます。
- 表示部に液晶パネルを採用しているために、極低温のときなど画面が明るくなるまで時間がかかることがあります。
  また、外気温が高いときなどに画面が暗くなることがありますが故障ではありません。
- 画面表示の中には小さな黒点・輝点がありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 表示部は、キズが付きやすいので、手で強く押したり、かたい布などでこすらないでください。
- 表示部の汚れは、柔らかいプラスチックレンズ用メガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。

## リモコンについて

テレビの操作、モニターの設定などはリモコンで行います。

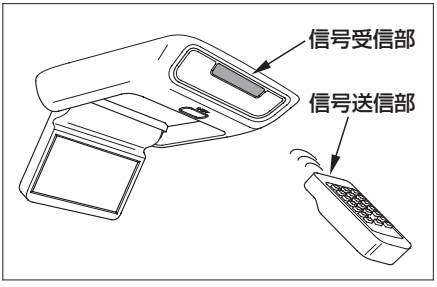



**知 識**

- リモコンには、精密な電子部品が組み込まれています。リモコンの故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  - 直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
  - 衝撃を与えないでください。
  - 水にぬらさないでください。
  - 分解しないでください。

## ●操作のしかた

リモコンの信号送信部を、モニターの信号受信部に向けて操作します。



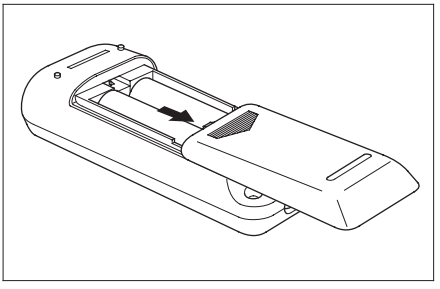

## ●電池について

リモコンの作動が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。

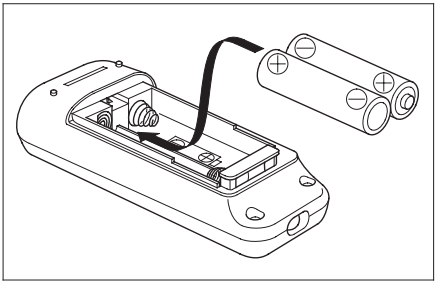
使用電池　単三形乾電池　2 個

**・交換のしかた**

①リモコン裏側のフタを開けます。



②電池を外して、新しい電池を入れます。リモコンの⊕⊖表示にしたがって入れてください。



③フタを閉めます。

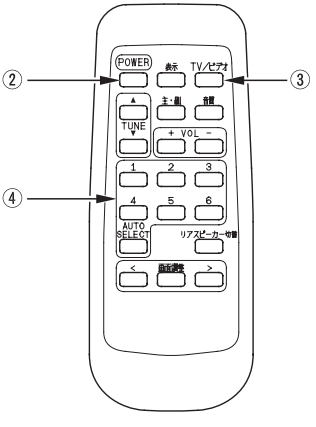
# テレビの操作

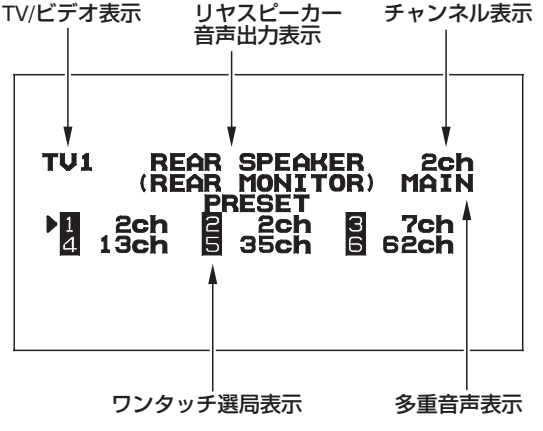
## テレビを見る

### ●テレビを見る

エンジンスイッチが“I”または“II”のときに使えます。

①モニターを開けて見やすい位置にします。　モニターの開けかた　→6ページ
②POWERボタンを押して電源を入れます。
③TV/ビデオボタンを押してTV1またはTV2を選択します。
④チャンネルを選局します。
　あらかじめ放送局をセットしておくと、ワンタッチで選局できます。
ワンタッチ選局のセットのしかた　→14ページ
⑤必要に応じてリヤスピーカーの音声出力を切り替えてください。




### ●テレビを消す

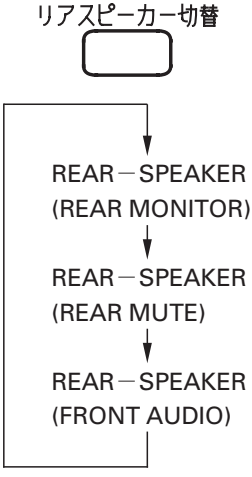
①POWERボタンを押して電源を切ります。
②モニターを収納します。
モニターの収納のしかた　→7ページ

**知 識**

●テレビを見ているときにモニターを収納した場合は、テレビの表示は消え、音声だけが聞こえます。再度、モニターを開けるとテレビが表示されます。

### ●リヤスピーカーの切り替え

リヤスピーカー切替ボタンを押して音声出力を切り替えます。




リヤスピーカー切替ボタンを押すたびに切り替わります。

（REAR MONITOR）
リヤモニターの音をリヤスピーカーから出力します。

（REAR MUTE）
リヤスピーカーの音を消音します。

（FRONT AUDIO）
オーディオの音をリヤスピーカーから出力します。（リヤモニターにテレビが表示されていてもオーディオの音が出力されます。）

### ●音量調節のしかた

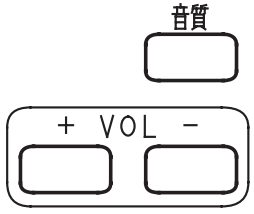
VOLボタンを押してリヤスピーカーに出力される音量を調節します。

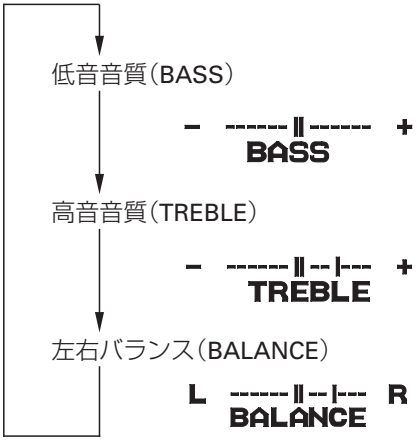
**知 識**

●リヤスピーカーの音声出力がREAR MONITORのときに音量、音質、バランスの調節ができます。

### ●音質、バランス調節のしかた

音質ボタンを押してモードを切り換え、VOLボタンを押して調節します。



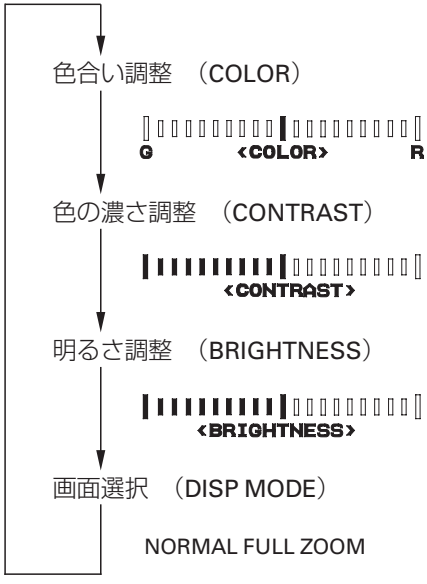

音質ボタンを押すたびに切り換わります。

**知 識**

- リヤスピーカーの音声出力がREAR MONITORのときに音量、音質、バランスの調節ができます。
- ヘッドホンに出力される音色は、調節できません。

### ●画面調整のしかた

画面調整ボタンを押してモードを切り換え、＜、＞ボタンを押して調整します。




画面調整ボタンを押すたびに切り換わります。

＜COLOR＞（色合い調整）
赤を強調させたいときは、＞ボタンを押して表示をR側へ移動させます。
緑を強調させたいときは、＜ボタンを押して表示をG側へ移動させます。

＜CONTRAST＞（色の濃さ調整）
画面を濃くさせたいときは、＞ボタンを押します。
画面を薄くさせたいときは、＜ボタンを押します。

＜BRIGHTNESS＞（明るさ調整）
画面を明るくさせたいときは、＞ボタンを押します。
画面を暗くさせたいときは、＜ボタンを押します。

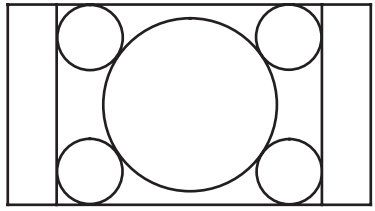
**知 識**

- 夜間（車幅灯をつけているとき）は、画面の明るさが自動的に減光しますが、表示ボタンを約2秒押すと通常の画面の明るさに戻ります。もう一度表示ボタンを約2秒押すと、画面の明るさが減光します。

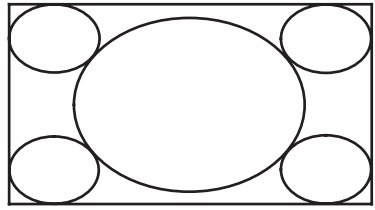
- 画面の明るさを、車幅灯を消しているときと、つけているときにそれぞれ設定できます。

＜DISP MODE＞（画面選択）
画面をNORMAL、FULL、ZOOM表示に切り換えます。

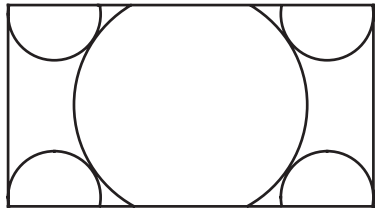
NORMAL（通常画面）



FULL（ワイド画面）



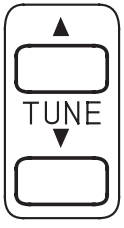
ZOOM（拡大表示）



## ●ワンタッチ選局のセットのしかた

①TV/ビデオボタンでTV1またはTV2を選びます。

②TUNE（選局）ボタンで選局します。

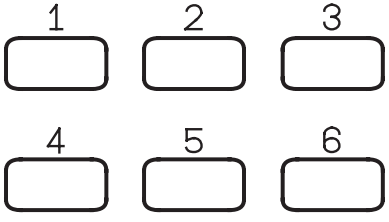



・短く押すと、押すたびに受信周波数が少しずつ変わります。（手動選局）
・長く押していると自動選局になりSEEK　UPまたはSEEK　DOWNが表示され、放送を受信すると止まります。

**知　識**

●受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

③ワンタッチ選局ボタンのいずれかひとつを、PRESET画面のチャンネル表示が変わるまで押してセットします。
TV1に 6 局、TV2に 6 局まで記憶できます。




**知　識**

●一度電源が切れた場合（車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

## ●自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、記憶したチャンネルが映らないことがあります。このようなときは、自動選局(オートセレクト)でその地域のチャンネルを記憶させて使用できます。

①TV/ビデオボタンでTV1またはTV2を選びます。

②AUTO SELECTボタンを押します。

③自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局ボタンに自動的に記憶されます。

解除するときは、AUTO SELECTボタンをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局ボタンの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

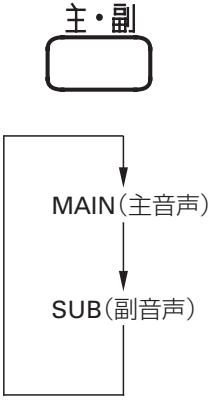
**知 識**

- ワンタッチ選局ボタンは 6 つありますが、記憶されたチャンネルが 5 局以下のときは、残りのボタンには何も記憶されません。チャンネルを記憶していないボタンを押すと、“0ch”と表示されます。
- 自動選局したチャンネルは、ワンタッチ選局のチャンネルとは別に記憶されます。

## 音声多重放送の切り換えかた

二ヵ国語放送など多重音声のときに、聞きたい音声を選びます。

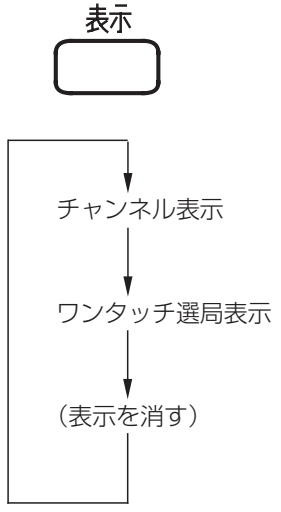
多重音声ボタンを押して主音声と副音声を切り換えます。




多重音声ボタンを押すたびに切り換わります。

## チャンネルを表示させるとき

表示ボタンを押すと、画面にチャンネルが表示されます。




表示ボタンを押すたびに切り換わります。

**知 識**

- ワンタッチ選局表示は、約 5 秒後にチャンネル表示に戻ります。

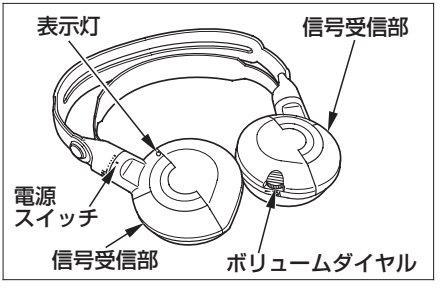
# ヘッドホンの使いかた

コードレスヘッドホンを使用して、テレビの音声を聞くことができます。
また、サードシート運転席側サイドボックスの中に音量調節機能付きヘッドホン端子があり、お手持ちのヘッドホンを使用することもできます。

**⚠注意**

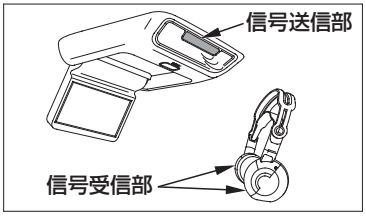
- 運転者は、走行中にヘッドホンを使用しないでください。
  車外の音が聞こえにくくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## コードレスヘッドホンについて



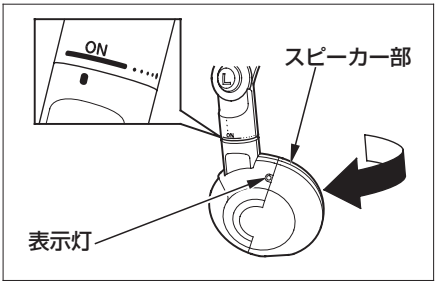
**知 識**

- コードレスヘッドホンには、精密な電子部品が組み込まれています。コードレスヘッドホンの故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・衝撃を与えないでください。
  - ・水にぬらさないでください。
  - ・分解しないでください。
- 赤外線信号の送信部および受信部がさえぎられた場合、信号を正しく受信できずに音声が聞こえなくなったり、雑音が発生することがあります。




**●電源の入れかた**

左耳のスピーカー部を“ON”の位置までまわして電源を入れます。(表示灯が点灯します。)元に戻すと電源が切れます。

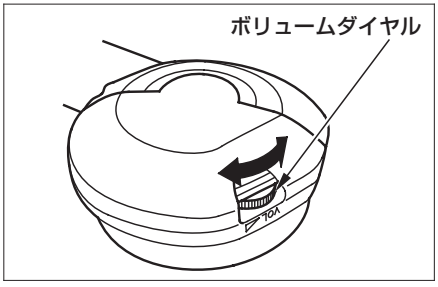



**知 識**

- ヘッドホンを使用しないときは、スピーカー部が元の位置まで確実に戻っていることを確認してください。元の位置に戻っていないと電源が入ったままになり、電池を消耗するおそれがあります。

## ●音量調節のしかた

ボリュームダイヤルで音量を調節します。




**知 識**

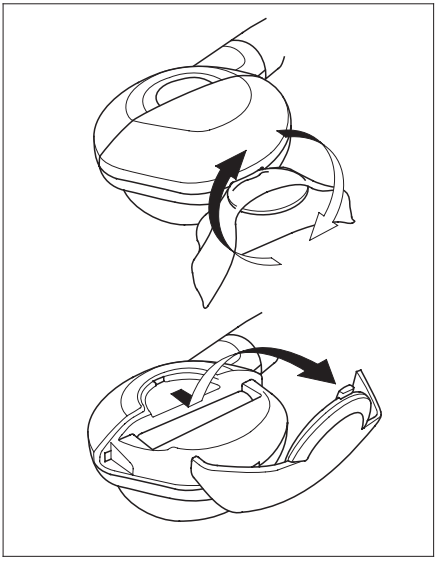
- ヘッドホンを使うときは、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお使いください。大音量で長時間使用すると、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

## ●電池の交換のしかた

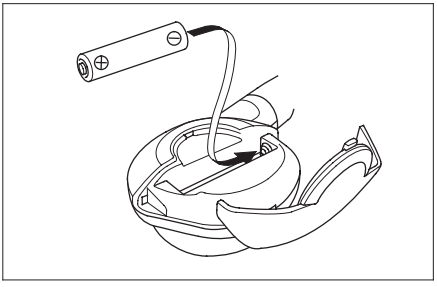
電池は左耳側にあります。

使用電池　単四形乾電池　1個

①カバーに傷を付けないようにコイン等に布を巻いてカバーを外します。



②電池を外して、新しい電池を入れます。ヘッドホンの⊕⊖表示にしたがって入れてください。

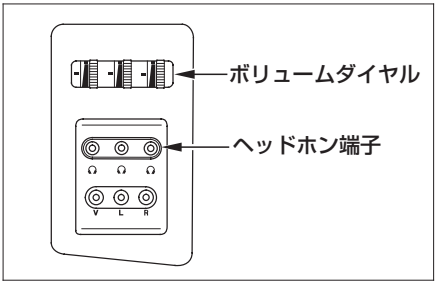


③カバーを取り付けます。

## お手持ちのヘッドホンを使うとき

サードシート運転席側サイドボックスの中に音量調節機能付きヘッドホン端子(3個)があります。

①ヘッドホン端子にヘッドホンプラグを接続します。
②ヘッドホンの音量を、それぞれのボリュームダイヤルで調節します。




**知 識**

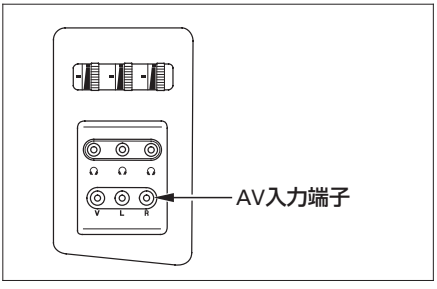
- 飲み物がヘッドホン端子やボリュームダイヤル内部に入ると、故障の原因となりますので注意してください。
  ヘッドホン端子を使用しないときは、サイドボックスのフタをしめてください。
- ヘッドホンを使うときは、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお使いください。大音量で長時間使用すると、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

# ビデオ機器などの接続

## AV入力端子

サードシート運転席側サイドボックスの中にAV入力端子があります。ビデオ機器やゲーム機などを接続して使用することができます。

①AV入力端子にビデオなどを接続します。
　V：映像
　L：音声　左
　R：音声　右




②POWERボタンを押してテレビの電源を入れます。

③TV/ビデオボタンを押してVIDEOにします。

④接続した機器を操作します。

**知　識**

- 飲み物がAV入力端子内部に入ると、故障の原因となりますので注意してください。
  AV入力端子を使用しないときは、サイドボックスのフタをしめてください。

# 困ったときの手引き

受信状態によっては、映像が映りにくいことがあります。
つぎのような状態があります。

| 症状 | 車両の状態 |
|---|---|
| 画面がゆれる。<br>雑音が出る。<br>画像が二重、三重になる。 | ビルとビルの間を走行しているとき。<br>飛行機が飛んでいるとき、電車の近くを走行しているとき。<br>送電線の付近を走行しているとき。<br>山かげ、木かげにはいったとき。<br>放送局から遠いとき。 |
| 画面にはん点が出る。 | 交通量の多い道路、高圧線、ネオンサインなどの近くを走行しているとき。 |
| 画面に色の縞模様が出たり、色が消える。 | ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行しているとき。<br>車内で無線機を使用していると、画面に色の縞模様が出たり、雑音が出ることがあります。 |
| テレビの映りがだんだん悪くなり、雑音が出る。<br>色が出たり、消えたりする。 | 山かげ、放送局から遠いところを走行しているときや停車しているとき。<br>トンネル内を走行しているとき。 |

## ●故障かなと思ったときに

つぎのようなときには、対処のしかたを参考に、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

| 症状 | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源が入らない。<br>リモコンがきかない。 | エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”になっていない。 | エンジンスイッチを“Ⅰ”または“Ⅱ”にしてください。 | 10 |
| | 乾電池が消耗しています。 | 乾電池を交換してください。 | 9 |
| | 乾電池の⊕と⊖を間違えて入れていませんか。 | 乾電池を入れ直してください。 | |
| | リモコンをモニターの信号受信部に向けて操作していますか。 | リモコンをモニターの信号受信部に向けて操作してください。 | |
| | リモコンとモニターの信号受信部の間に障害物がありませんか。 | 障害物を避けて、モニターの信号受信部にあたるよう操作してください。 | |
| テレビ映像が出ない。 | ＴＶ１またはＴＶ２モードになっていない。 | TV/ビデオボタンでTV1またはTV2にしてください。 | 10 |
| 画面が暗い。 | 明るさ調整が正しくされていますか。 | 明るさ調整をしてください。 | 12 |
| 夜間（車幅灯をつけたとき）画面が暗くならない。 | 減光の設定を変更していませんか。 | リモコンの表示ボタンで減光の設定を戻してください。 | 13 |
| 色が薄い。<br>色合いが悪い。 | 色合い、色の濃さ調整が正しくされていますか。 | 色合い、色の濃さ調整をしてください。 | 12 |
| テレビの音が出ない。 | ボリュームが小さくなっていませんか。 | 音量調節をしてください。 | 11 |
| | リヤスピーカーがフロントオーディオまたはミュートモードになっていませんか。 | リヤスピーカーボタンでリヤモニターモードにしてください。 | 11 |

| 症状 | 原因 | 対処のしかた | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| コードレスヘッドホンの電源が入らない。 | 乾電池が消耗しています。 | 乾電池を交換してください。 | 20 |
| | 乾電池の⊕と⊖を間違えて入れていませんか。 | 乾電池を入れ直してください。 | |
| コードレスヘッドホンの音が出ない。 | ボリュームが小さくなっていませんか。 | 音量調節をしてください。 | 20 |
| | ヘッドホンを左右逆につけていませんか。 | ヘッドホンの左右を確認して装着してください。 | 19 |
| | コードレスヘッドホンとモニターの信号送信部の間に障害物がありませんか。 | モニターの信号送信部とコードレスヘッドホンの信号受信部の間にある障害物を避けてください。 | |

### ●地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行について

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は2011年７月に終了することが、国の方針として決定されています。

### ●アナログテレビジョン放送のチャンネル変更について

アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、記憶されたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度再設定を行ってください。放送局名は、本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。

**本インテグレーテッドモニターシステムは、地上デジタルテレビジョン放送には対応しておりません。**

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
ホンダベルノ店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30S3V920
00X30-S3V-9200

©2004　本田技研工業株式会社